

みちーるべ

第126号

人権・同和問題啓発広報
人権同和政策課
☎ 22-7506
同和教育・啓発推進会議

出雲市同和教育研究指定事業の取組

市では、市内の地区同和教育推進協議会を指定し、当該地区内の幼稚園、小・中学校、保育園（所）、コミュニティセンターが連携を図りながら、「真に明るく住みよい民主的な社会の創造」を目指した地域ぐるみの同和教育を推進できるように、同和教育研究指定事業を実施しています。

平成24・25年度に指定した
地域の取組を紹介します。

稗原地区同和教育推進協議会

昨年10月の発表会では、取組の実践発表や、南中学校、稗原小学校、稗原幼稚園での公開授業・保育のかか、舞台女優の有馬理恵さんの講演会（演題「差別と戦争をなくすためにおしゃいとおはなし」）を行い、300人の参加者が最後まで聞きました。



▲稗原地区同和教育推進協議会に5つの専門部会（調査部、研修部、広報部、幼稚園・小学校部、中学校部）を構成し、推進体制を強化するとともにそれぞれ連携を図りながら、部会や役員会では活発な意見交換を行いました。

この2年間の研究指定事業で人権・同和問題が一気にすべて解決できるものではありませんので、今後の稗原地区の取組にあたっては今回の研究指定事業で感じたことは、見えてきた課題を取り入れて、启発できたのではないかと思つております。

この2年間の研究指定事業で人権・同和問題が一気にすべて解決できるものではありませんので、今後の稗原地区の取組にあたっては今回の研究指定事業で感じたことは、見えてきた課題を取り入れて、長年続けております自治会単位のミニ集会を中心に研修広報活動を継続して行い、知識レベルから行動力となつて眞に人権尊重の町稗原が実現することを目指して一層努力していきたいと思います。

稗原地区同和教育推進協議会
柿本 栄会長から

杵築地区同和教育推進協議会



▲保育園児が元気いっぱいにダンスを披露してくれました。



▲杵築地区では、31か所で地域研修を実施しました。研修会では、「きづく座」のトーク劇を見た後、感想を出し合い話し合いました。普段何気なく見過ごしている身近な内容だったので、人ごとではなく自分のこととして考えるよい機会となりました。

昨年11月の発表会では、たいしゃ保育園の園児による「とどろき太鼓」のステージ発表に始まり、杵築地区有志で結成された「きづく座」によるトーク劇を交えた実践発表、大社小学校、大社幼稚園での公開授業・保育のほか、シンガーソングライターのうみさんのトーク＆コンサートを行いました。



▲地域住民に劇団員募集の呼びかけをし、有志による「きづく座」が誕生しました。劇団員が身のまわりにある人権問題を出し合いながら、自分たちで作った脚本を基に、地域研修をはじめさまざまな研修会でトーク劇を行いました。このパワーが啓発活動の大きな力となりました。

杵築地区では、活動テーマを「きづき 心かよう まちづくり」と設定し、同和問題をはぐり」と設定し、同和問題をはじめとしたさまざまな差別問題の解決に向けて取り組みました。まず身近なところにある差別に気づき、一人ひとりが自分のこととして考えていくことが必要と考え、地域の有志による『トーキュ劇』を提案しました。無意識に使っている言葉の中に潜む差別意識に気づき、こういうことだつたのかと再発見したり、自分は差別しない人になりたいと思つたりしたと感想が寄せられました。こういう取組の積み重ねが差別の解消や、相手を思いやることにつながり、ひいては心かよう町づくりにつながっていくことを願っています。

今後、一人ひとりが日常生活の中で人権感覚を磨き、コミュニケーションセンターを中心に、学校・園・各種団体が連携を図りながら、きづき、心かようまちづくりに取り組んでいきたいと思います。

杵築地区同和教育推進協議会 須佐 公和会長から

杵築地区では、活動テーマを「きづき 心かよう まちづくり」と設定し、同和問題をはぐり」と設定し、同和問題をはじめとしたさまざまな差別問題の解決に向けて取り組みました。

指定2年目となる今年度、これらの取組の成果などの発表会は次の予定です。

- 遙堪地区同和教育推進協議会
とき 10月25日(土) 主会場 遥堪小学校
- 国富地区同和教育推進協議会
とき 11月29日(土) 主会場 国富小学校

同和教育は、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくし、すべての人々の人権を尊重する取組です。今回紹介した研究指定を受けた地域だけでなく、研究指定を受けていない地域でも、さまざまな活動が行われています。皆さんも積極的に参加しましょう。